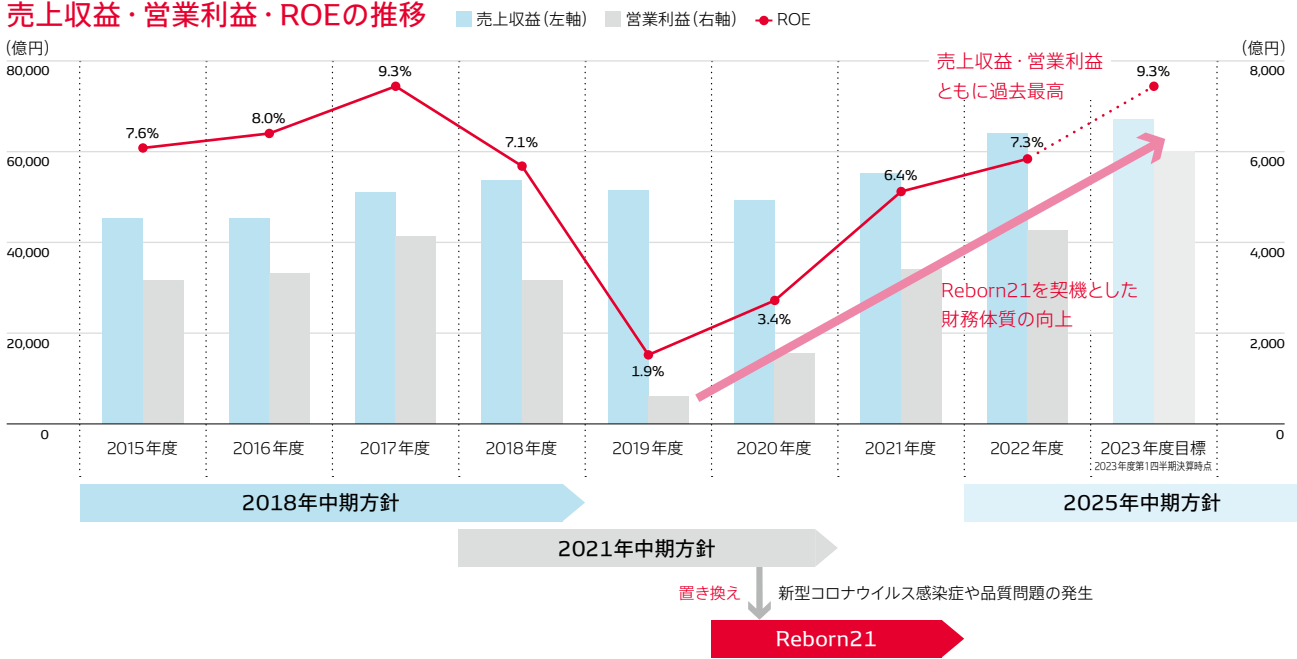


未来に向けた歩みとその成果

デンソーはサステナビリティ経営の考え方を軸に、将来を見据え、社会課題解決と企業価値向上を両立する戦略を打ち出し続けてきました。2018年度からは「2021年中期方針」に基づく行動計画を着実に実行していましたが、2019年度に新型コロナウイルス感染症や、過去に例を見ない規模の品質問題などのデンソーの基盤を揺るがす事態が発生。そこで、2021年中期方針に対して最新の事業環境を反映し、「質の高いデンソー」に生まれ変わる変革プラン「Reborn21」に置き換え、経営基盤の再構築に取り組みました。これらの取り組みの成果の一つとして、2022年度には売上収益・営業利益ともに過去最高を更新するなど、着実に成果が出始めています。

売上収益・営業利益・ROEの推移



	2018年中期方針 (2015年度～2018年度)	Reborn21 (2020年度～2021年度)
位置付け	次の挑戦の礎となる体質強化と着実な成長 CASEの伸展に備えた「環境」「安心・安全」領域での先行投資や、新興国の成長に伴う「海外・市販・新事業」ビジネスの拡大、およびグローバル開発の強化とモノづくりの効率化の実現を通じて、長期成長の基盤をつくる	「質の高いデンソー」への生まれ変わり 新型コロナウイルス感染症や、大規模な品質問題などの経営の揺らぎと事業環境の変化を受け、「品質の立て直し」と「引き締まった強靱な体質への変革」を目指し、経営基盤の再構築に取り組む
主な成果	環境・安心 <ul style="list-style-type: none"> 初代予防安全システム「Global Safety Package」発売 電動化に向け、「エレクトリフィケーションシステム事業グループ」を設立 市販・新事業 <ul style="list-style-type: none"> FAと農業分野を新事業の柱に据え、成長シナリオ策定・推進 海外 <ul style="list-style-type: none"> グローバル共通人事制度の導入 電動化・ADAS・ソフトウェア領域の開発人員の増強 ダントツ工場の国内展開および海外展開推進 	品質 <ul style="list-style-type: none"> 基盤技術固めと、風通しの良い職場づくり、謙虚な姿勢の定着 事業 <ul style="list-style-type: none"> 環境・安心の理念に基づく事業ポートフォリオ入れ替えの加速 人・組織 <ul style="list-style-type: none"> 社員エンゲージメントの向上と、人と組織の新ビジョン「PROGRESS」の導入 財務 <ul style="list-style-type: none"> 2年間で910億円のコスト低減、損益分岐点比率の6ポイント良化
残課題	<ul style="list-style-type: none"> クルマの複雑化に対応するシステム提案力の強化 モビリティサービスのビジネスモデルの構築 ダントツ工場の海外展開 	<ul style="list-style-type: none"> 人財ポートフォリオ変革の促進(人的資本 P.74-77) インフレなどさらなる環境変化に対する変動対応力の強化(財務資本 P.66-73)